

「第 2 次大阪府歯科口腔保健計画」に係る論点メモ

◎ 現状と課題について

- 歯と口に関する健康指標や歯科疾患の状況からみた現状と課題
 - ▶ 統計指標等により、府民の歯と口に関する健康課題を的確に抽出できているか
 - ▶ 年齢別等、わかりやすいデータ等になっているか

◎ 「2 次計画における具体的取組み」について

- 府民の歯と口に関する健康課題への的確に対応しているか
- ライフステージ（乳幼児期～学齢期～成人期～高齢期、歯科健診を受けることが困難など配慮を有する人）に応じた取組みの必要性が反映できているか
- 行政のみではなく、医療保険者や民間企業など公民の多様な主体との連携・協働が施策の効果を高めているか
- 国の動向や社会情勢等の反映

◎ 「目標の設定」について

- 本計画の実効性を確保し、具体的な取組み推進を図るため、素案では 3 つの目標・指標（①「府民・行政等がみんなでめざす目標」、②「府民の行動目標」、③「数値目標」（府民の健康指標、行政等が取り組む目標））を設定。
 - ▶ 府民にとってわかりやすい指標か
 - ▶ 府民をはじめ関係者が取り組みやすいものか
 - ▶ 計画期間（6 年間）中、モニタリングが可能か
- 「2023 年目標値」をどのように考えるのか。素案では目標値について、4 つの考え方で整理。（ア：目標を達成した項目、イ：目標に未達成だった項目、ウ：計画ベース値の変更があった項目、エ、「府民の行動目標にかかる状況把握項目」に分類する項目）
 - ▶ 今後の社会構造の変化等（人口減少、高齢化の進展等）
 - ▶ 国の動向等（社会保障制度、国が定める設定方法・目標値等）
 - ▶ 行政をはじめ、多様な主体の取組みの方向性等